

**JOES**

補習授業校情報交換会 # 42

## 補習校の図書館



お願い：できるだけ**カメラON**でご参加ください。

### 本日の予定

1. 各校からの報告
2. 質疑・意見交換
3. 終了後、グループ懇談 15 分

### ◆ これからの情報交換会

リクエストは 1 件準備しています。

リクエストは、三井 [tommitsu1122@gmail.com](mailto:tommitsu1122@gmail.com) または、佐々 [ag5nsassa@gmail.com](mailto:ag5nsassa@gmail.com) へ。

### ◆ 情報交換会の録画について

スタッフの反省材料とするため、ミーティングの録画をさせていただいておりますが、それ以外の目的でお見せすることはいたしません。ご理解をお願いいたします。

### ◆ 出席者と連絡を取りたいとき

ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。

### ◆ こちらもごらんください

過去の AG5 補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post>

AG5 ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

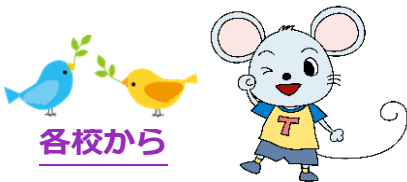
補習校教員交流 Facebook <https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

海外子女教育振興財団 (JOES) <https://www.joes.or.jp>



## ここが聞きたい

- ・ 図書の管理ソフトはどのようなものを使っていますか？本棚の管理、分類はどのようなシステムを活用していますか？中、高生の図書の利用を促進させるための工夫はありますか？
- ・ 利用している貸出システムがあったら教えてください
- ・ 各校の図書への取り組みを伺いたいです。
- ・ どういう風に日本語の本を集めていますか？購入の年度予算は如何ほどですか？
- ・ 他校がどのようなシステムを使って図書運営をしているのかを知りたいです。
- ・ 図書の本の分別の仕方をみなさんが、どうやっているのか知りたいです。学年別、種類別、五十音順など



## 各校から

### ♣ミュンヘン \*\*\*\*\*

蔵書二万冊!! (渡部 操織)

### ♣クリーブランド \*\*\*\*\*

幸いなことに、補習校には豊富な図書があり、活用させてもらっています。 (後藤 豊実)

### ♣香港 \*\*\*\*\*

コロナ感染予防で混雑を避けるために、低学年と高学年の時間差をつけて貸し出し時間を設けています。現在は一人1冊まで、2週間借りられます。また、希望者のみYomokka という電子図書（有料）も利用できるようにしています。（龍池 千明）

### ♣チューリッヒ \*\*\*\*\*

土曜日のみ借用している全日校校舎内図書室の蔵書は、3千冊を超えるもので、全て紙書籍です。（長森 千枝）

♣カンザスシティ ＊＊＊＊＊

感染症対策で、限られた冊数にはなりますが、カートに乗せられた本を廊下に運び、希望生徒はそこから選んだり返却したりする。小さな移動図書館のような感じでやっています。生徒が図書室に密になることを避ける為。（茂木 紘子）

♣カンザスシティ ＊＊＊＊＊

Covid の感染防止のため、現在も本を載せたカートが廊下を回っています。（浜田 佐知）

♣カンザスシティ ＊＊＊＊＊

当校はバーコードシステムを導入しておらず、導入を模索しております。初期投資や年間費用をかけずにバーコード化する方法または、低コストの優れた図書管理システムはありますか？  
（Miho Ueda）

♣フィレンツェ ＊＊＊＊＊

当校ではコロナ禍の前は小さな本棚スペースが校内にあり、図書カードに記入して生徒も講師も借りることができました。この2年半の間はオンライン授業をしたので、それも使用不可能でした。さて、10月より対面授業が再開しますが、今までイタリアの小学校から20数年間借りていた校舎がコロナのせいで使えず、新しい学校に頼んで校舎を使わせてもらうのですが、そこには日本語補習校のために置く本棚のスペースさえありません。試行錯誤中にこのオンラインミーティングがあり、ヒントを得られたらと思って参加させていただきます。（早坂 由美）

♣シカゴ ＊＊＊＊＊

別メールの添付でコロナ禍における弊社図書室の働きを送りました。よろしくお願いします。  
（金谷 紀代子）

♣ユタ ＊＊＊＊＊

10年図書委員長をやっていた方が引っ越しをしたので、今年の4月から図書委員長を勤めています。ユタ補習校にはたくさんの絵本、読み物、図鑑、漫画などあります。7台の本棚カートでそれらの本を管理しています。かなり充実した本の品揃えだと思います。（バートン かおる）

## シカゴ双葉会学校図書館とコロナ禍

コロナ禍は、2019年の4月に本格化し、学校は閉鎖されオンライン授業をしなければならないという最悪の事態になりました。その後は、世界中がコロナの状況に合わせて、対応を調整しなんとかコロナ禍を乗り越えて今日にいたっているわけですが、シカゴ双葉会日本語学校補習授業校では、コロナ禍を境に図書館使用について一つの改革がなされました。もし、コロナ禍がなかったら、ひたすらに現状維持することに追われ、それは起こらなかったことでした。

コロナ禍以前、本校では毎週一人2冊、夏休みや冬休みのような長い休暇中は一人3冊ということで、図書貸出しを行っていました。幼稚部から小学校5年生までは毎週、図書の時間があるので、毎週土曜日の図書貸出し冊数は大変な数になりました。それが可能だったのは、図書当番になった保護者の方々8名が毎週、返却と貸し出しを行っていたからです。

シカゴ双葉会日本語学校は同じ校舎を月曜日から金曜日までの全日校と土曜日だけの補習校で共有しており、図書館には2万冊をこえる蔵書があります。創立50年以上の歴史を持つ補習授業校では開校以来、読書指導と図書施設の充実に力をいれてきました。海外で暮らす日本の子どもたちに、日本文化にふれる機会を与え、日本語能力を保持するために読書は最高の手立てです。そのために、学校図書館の充実は欠くことができません。

しかし、2019年にパンデミックがおこり、一年以上にわたり双葉会では図書館利用が不可能になりました。それでも、図書館を利用したい児童生徒には予約制で利用時間と人数の制限をして、保護者のボランティアを募るなど様々な工夫を重ねて図書貸出しを行ってきました。

その後、パンデミックの猛威がおさまりはじめたことで、学校は次第に平常にもどり始めました。が、児童生徒の安全を確保するために、学校の活動にはコロナ禍以前とは異なる様々の規制がなされ、学校図書館も今までと全く違う様相で再開されました。マスクの着用、手の消毒にはじまり生徒間の緊密を避けるために、教室でも廊下でも距離をとることなどです。

パンデミック以前の双葉会では、幼稚部から小5までの児童には授業時間に15分の「図書の時間」があって、図書貸出しが行われていました。図書の貸し出しは1時限を前半と後半にわけて、前半と後半の時間に全学年(3クラスか4クラス)が図書館にやってきてが行われるのです。貸し出しはコンピュータの端末3台です。生徒の多い学年では80名をこえることもあり、図書の貸し出し時の混雑は大変なものでした。しかし、1週間に一日しか学校に来ない補習校では、それ位やらないと図書貸出しの該当学年全員に毎週本を貸し出すことはできません。

現在はコロナ禍の規制がかなり緩くなったとはいえ、パンデミック以前のような図書貸出しで、生徒が図書館内で混雑することはゆるされません。

そこで、様々の工夫と改善が繰り返され、新しい図書貸出しが行われることになりました。

小1と幼稚部は毎週2冊の貸出をします。小2から小5までは図書貸出しは1週間おきにしました。ただし、1週間おきに貸し出しがおこなわれる小2から小5の生徒の貸し出しは一人2冊でなく3冊になりました。各学年の「図書の時間」の貸し出しは散密のため、1クラスずつ順番に行います。以前のように全学年が同じ時間帯に集中して生徒が図書館でどった返すことがなくなりました。が、各クラスが順番に来なければならないので、授業時間の半ばに図書館にやって来るクラスは授業を中断しなければなりません。したがって最初の頃は苦労がありました。が、回数をかさねているうちにそれが習慣となり、中断は気にならな

くなったといいます。貸し出し方法をこのように変更したことで、静かなおちついた環境で本をじっくり選ぶことがでて、生徒の読書によせる関心が深くなったようだ、と何人かの先生からコメントがその後よせられました。コロナ禍の安全対策を実施したことで、双葉会日本語学校では明らかに図書の貸し出し数は減少したわけですが、読書の質が向上したことを実感しています。

災難にあった時、また以前の状態に戻ることを復興と考えますが、見かたをかえれば災難は現状を変革しさらに前進するチャンスとなりえる、ということをこのコロナ禍で教えられたような気がします。

（白上未知子、図書館司書）

## バンコクより

私は図書館司書資格と学校図書館司書教諭資格を有しています。

今回残念ながらミーティングには参加できませんが以下の二つの資料を提出します。参考になれば幸いです。

(1)図書館システムについて

(2)図書館に関連した授業の取組みについて

(1)図書館システムについて

現在勤めているインター校では図書館業務に携わってはいませんが、日本人会の図書館でボランティアをしており、過去に議案書を提出し図書館システムを導入したことがあります。海外における日本語書籍図書館／図書室ではシステムが整備されておらず貸出やレファレンス業務などでお困りのところもあるかと思いましたので紹介させていただきます。

私が来タイした 2014 年当時、日本人会の図書館の貸出利用方法は台帳に「氏名、会員番号、電話番号、書籍タイトル」を手書きで記入するというかなりアナログなスタイルでした。台帳は見開き 1 ページで 14 名分記載する形式になっており、利用者が記入する際には他の人の情報が見えてしまっていました。

これは個人情報保護法及び日本図書館協会が定める「図書館の自由に関する宣言」の第三項（参照 (<https://www.jla.or.jp/library/gudeline/tabid/232/Default.aspx>)) に抵触しています。

その為私は日本人会に図書館システム導入の議案書を提出しました。

従来の貸出方法では借りた書籍は全て一括返却しなければならないというルール（当時は貸出が有料だった為、延滞などを把握しやすくする目的）があったり、規定数以上の不正貸出を取締りにくい、レファレンス業務（図書の照会や検索）はボランティアの記憶に頼るしかないなど不便な点がいくつかありましたが、それらを解消する事もシステム導入の目的の一つでした。

図書館システムについては様々なものが存在しますが、蔵書数がそれ程多くなく必要最低限の機能でよいなら、高額のシステムを購入する必要はないかと思います。

議案書の中で提案したソフトの中から 2 つ紹介します。

①お気軽図書館 <https://okigaru.itecsol.jp> (<https://okigaru.itecsol.jp/>)

導入実績 1200 以上

86000 円～

バンコク日本人会図書館では最終的にこちらを導入しました。

②win 書庫 <https://sts.exp.jp/index.html> (<https://sts.exp.jp/index.html>)

無料

私が日本で勤めていた高校で採用していた図書館システムです。こちらも使い勝手としてはそれ程劣らないですし、予算が限られている場合でも導入できるかと思います。

## 【システム導入に必要なもの】

- ・パソコン
- ・バーコードリーダー
- ・分類記号シール（手作りでも可）

どちらのソフトも国立国会図書館の書誌情報を読込むことができます。司書知識は不要です。

2022 年のこの時代にアナログな貸出をしている所などもうないのかも知れませんが、老婆心ながら紹介させていただきました。もし更に詳細を知りたい場合や質問などございましたら事務局経由でお問合せいただければ出来る限り対応したいと思います。

## (2)図書館に関連した授業の取り組みについて

日本で教師をしていた時からやっていたことですが、自分自身が積極的に図書館を利用し、借りた本を授業の導入で軽く紹介していました。実際に生徒に本を見せ、（学内の）図書館で借りられるよ、〇〇な人におすすめだよ、などとミニブックトークを地道に行いました。「あれからあの本読みました」と生徒に言ってもらえた時は嬉しかったです。担当教科に関わらずブックトークをぜひ取り入れて欲しいです。

ブックトークとは（コトバンクより）

<https://kotobank.jp/word/%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%88%E3%83%BC%E3%82%AF-619139>

また、授業で POP 作りをしたこともあります。

POP（Point of purchase advertising）とは読んだ自分がその本を読んだことのない人に、その本の「何」に「どう」心を動かされたかを短いフレーズに思いを込めて伝えるものです。（感想文ではありません。）

伝えたいことを言葉にする、キャッチフレーズを考えることは言語センスを磨く良い練習になります。

POP のコンテストもたくさんありますので、海外からも応募できるものを探して取り組むのも一案かと思います。

全国学校図書館 POP コンテスト | ポプラ社

(<https://www.poplar.co.jp/schoolLibrary/pop-contest/>)

(今年はちょうど現在受付中、11/30 締切のようです。)

以上です。ご高覧いただき有難うございました。（エクル 直子）

アムステルダム補習校（児童生徒数約 230 人・幼稚部から中 3 まで計 19 学級）

【本校図書室利用の前提】

校舎を借用している日本人学校の図書室（蔵書約 1 万冊）をそのままお借りしている。

図書カード（手書き）を用意し、毎週の図書当番 3 名（保護者ボランティア）がまとめている。低学年は担任が貸出と返却作業の補助に入る（図書カード記入など）。幼稚部は保護者への貸出。

貸出と返却の作業／借りたい本を探す時間は 15 分間。



【コロナ禍前までの図書室利用状況】

全校児童生徒が毎週図書室利用

児童生徒は毎週 1 人 3 冊まで貸出

貸し出し期間は 1 週間

長期休み期間中は 1 人 5 冊まで貸出

小学部低学年の貸し出しが最もさかん

【コロナ禍後の図書室利用状況】

本校の児童生徒数が増加したため図書室は隔週利用（全校を 2 グループに分けて運用）

図書室利用が隔週となったため、貸し出し期間は 2 週間に

児童生徒数増により日本人学校の児童生徒が図書を借りにくくなるという課題



➡長期休み期間中の貸し出し冊数を 3 冊に引き下げ

小学部低学年の貸し出しが最もさかん

【各補習校の先生方にお聞きしてみたいこと】

電子蔵書管理システム導入作業（日本人学校主導）のため本校は図書室の利用を一時停止

■ 図書室のない学校では読書についてどのように工夫しているかお聞きしたい

「School e-Library」ほかの利用（有償・希望者のみの受益者負担とするかどうか）など検討中

■すでに導入している学校があればその方法や状況などお聞きしたい

■そのほか、図書室利用についてのアイデアや工夫などあればお聞きしたい

【追記補足】

本校独自の図書もあるが、図書室とは別に本校職員室の書棚にて運用



保護者ボランティア主催の古本市（学期ごとの開催）が好評





昨今、オランダ国内近隣に私設の図書室が次々と設立されている状況も



[ユトレヒト日本語ブックシェアリング | ひまわりの会 \(himawari-utrecht.nl\)](https://himawari-utrecht.nl/)

[Kotch Library - 日本語の本をオランダで。在デルフトの図書館。](#)

(鈴木 隆秀)